

受注システムと自動化により高い生産性を実現し 日本随一のOリング製品ラインナップを短納期対応

創業70年のOリング専門メーカー（※Oリングとは流体（気体、液体）をシール（密封）するためのゴム部品）。ゴム長靴の製造を起源とし、Oリング製造の中小企業としては初めてJIS規格製品に認定された。その一方で、JIS規格にはない特殊なサイズを自社規格「モリセイ規格」としてカタログ化し、日本随一の製品数を誇る。多品種・小ロット・短納期を強みとして半導体や自動車、医療、航空からエネルギー関連などさまざまな分野のサプライチェーンの一端を担っている。

所在地	東京都墨田区八広1-30-9	設立	1951年
電話/FAX	03-3618-5555 / 03-3618-5566	資本金	5,000万円
URL	https://www.morisei-kako.co.jp	従業員数	135人
代表者	代表取締役 毛利 栄希		



自動化されたオリジナル受注システムとトレーサビリティの見える化

受注システム「O-ring Web」を導入し24時間どのタイミングでも受注可能な体制を整えている。また、川上から川下までデータ化することで徹底的な生産管理と品質管理を行っている。製品をバーコードで管理し、いつでもどこで生産された顧客に納入されているのか把握、その製品のテストピースも保管されているため顧客からの問い合わせにスピーディーに対応が可能である。納入された製品がどこでいつ生産されたものかといった製品情報をWeb上で公開し顧客自身が閲覧可能となっている。



O-ring Web受注システム画面

ピッキングシステム、検査ロボット導入により自動化を推進

10万点以上の材質×サイズを有し、保有する製品在庫が2万点以上あり、工場内に自動倉庫と呼ばれるピッキングシステムを導入、バーコード化された製品情報は「探す」時間削減とヒューマンエラーを防ぐ。検査包装工程を「自動検査機」や「自動包装機」の導入により自動化、メーカーと共同開発した「自動ロボット検査機」を試験的に稼働、将来的には本格稼働、増設を予定するなど自動化による生産性向上を積極的に行っている。



ピッキングシステム、検査ロボット

最先端技術を下支えする製品開発力

東京工場を研究開発拠点およびオーダーメイドの受注生産工場と位置づけている。東京工場研究棟にクリーンルーム設備を備え、研究開発とともに高付加価値の特殊製品の製造を行っている。DNA検査装置や細胞検査装置をはじめとした、医療やバイオ、半導体分野等の次世代装置開発において当該装置に組み込まれる部品を供給している。素材メーカー、装置メーカーとの連携により材料の選定、配合から用途に合ったオーダーメイドの製品開発を行うなど、当社の製品が各先端分野の研究開発を下支えしている。



東京工場社内風景